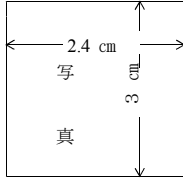
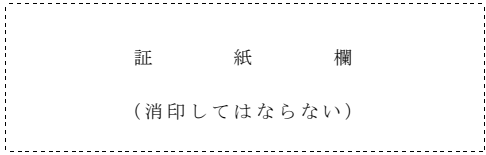


# 登録移転申請書



宅地建物取引業法第19条の2の規定により、登録の移転を申請します。

知事 殿 年 月 日

郵便番号 ( )

申請者 住 所

氏 名



移転前の都道府県知事 移転前の都道府県知事  
の受付番号 の受付年月日

移転前の登録番号

*		*					
---	--	---	--	--	--	--	--

移転後の都道府県知事 移転後の都道府県知事  
の受付番号 の受付年月日

移転後の登録番号

*		*					
---	--	---	--	--	--	--	--

## 項番 ◎申請者に関する事項

11	フリガナ						
	氏 名						
	生 年 月 日	年	月	日	性別	1.男 2.女	
	郵 便 番 号						
	住所市区町村コード	_____都道府県 _____市郡区 _____区町村					
	住 所						
	電 話 番 号						
	本籍市区町村コード	_____都道府県 _____市郡区 _____区町村					
	本 籍						
		確認欄					

## ◎移転に関する事項

12	移転前の都道府県知事		移転の理由				
	◎移転後において業務に従事し、又は従事しようとする宅地建物取引業者に関する事項						
	商号又は名称						
	免許証番号		( )				
		確認欄					

⑩ 「住所」の欄は、⑨により記入した住所市区町村コードによって表される市区町村に続く町名、街区符号、住居番号等を、「丁目」「番」及び「号」をそれぞれ－（ダッシュ）で区切り、上段から左詰めで記入すること。

(記入例) 震が関 2 - 1 - 3

⑪ 「電話番号」の欄は、市外局番、市内局番、番号をそれぞれ－（ダッシュ）で区切り、左詰めで記入すること。

(記入例) 0 3 - 5 2 5 3 - 8 1 1 1

⑫ 「本籍市区町村コード」の欄は、都道府県の窓口備付けのコードブック（総務省編「全国地方公共団体コード」）により、本籍地の所在する市区町村のコードを記入すること。なお、外国籍の場合には、9 9 0 0 0 0 と記入すること。

⑬ 「本籍」の欄は、⑫により記入した本籍市区町村コードによって表される市区町村に続く町名、街区符号、住居番号等を、戸籍のとおり、上段から左詰めで記入すること。なお、外国籍の場合には記入しないこと。

(記入例) 震が関 式 丁 目 老 番 参 号

⑭ 「移転前の都道府県知事」の欄は、上記③の表より該当する都道府県知事のコードを記入すること。ただし、移転前の登録を受けている都道府県知事が北海道知事である場合には、51～64のうち該当するコードを記入すること。

⑮ 「商号又は名称」の欄は、上段から左詰めで記載すること。

⑯ 「免許証番号」の欄は、免許権者については、上記③の表より該当するコードを記入すること。ただし、免許権者が北海道知事である場合には、51～64のうち該当するコードを記入することとし、信託会社及び信託業務を兼営する銀行については、(記入例)に従うこと。また、移転後において、業務に従事しようとする宅地建物取引業者が新規免許申請中の場合は、記入しないこと。

(記入例) ㊦ 0 0 (5) 1 0 0 [国土交通大臣(5)第100号の場合]

㊧ 9 9 ( ) 5 0 [国土交通大臣届出第50号の場合]